

令和元年度第5回岩手県大規模事業評価専門委員会

(開催日時) 令和2年1月17日(金) 15:30～16:30

(開催場所) エスポワールいわて 2階 大ホール

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 事
 - (1) 大規模施設整備事業の事前評価について<継続審議>
 - ・盛岡南公園野球場(仮称)整備事業(盛岡市)
 - (2) その他
- 4 閉 会

出席委員

加藤徹専門委員長、越谷信副専門委員長、秋山信愛委員、河野達仁委員
島田直明委員、竹内貴弘委員、松山梨香子委員

欠席委員

狩野徹委員

1 開 会

〔事務局から開会宣告〕

〔事務局から委員8名中7名の出席により会議が成立する旨の報告〕

2 挨 拶

○北島政策推進室評価課長 開会に当たりまして、加藤専門委員長から御挨拶をお願いいたします。

○加藤専門委員長 それでは、簡単に御挨拶申し上げたいと思います。

本日は、新年早々委員の皆様には御都合をつけていただき、御出席いただきました。本当にありがとうございます。もう1月も半ば過ぎましたが、改めて新年おめでとうございます。今年もよろしく願いいたしたいと思います。

それで、本日の議事につきましては12月20日に第4回委員会の際に審議させていただいた件の継続審議となります。そのときに出されました課題あるいはその時点ではまだパブリックコメントの結果が出ていませんでしたので、今日はその結果と、それへの対応も含めまして、事務局から御説明いただきまして、大きい問題がなければこの案件については最後の結論までいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

〔配付資料の確認〕

〔審議内容の説明〕

3 議 事

(1) 大規模施設整備事業の事前評価について<継続審議>

・盛岡南公園野球場（仮称）整備事業（盛岡市）

○加藤専門委員長 それでは、本日の議案であります大規模施設整備事業の事前評価について、盛岡南公園野球場（仮称）整備事業の継続審議に入らせていただきます。先ほど課題やパブリックコメント等という話をさせていただきましたので、それら含めて事務局から御説明いただければと思います。よろしくお願いいたします。

[資料No.1～資料No.3説明]

○加藤専門委員長 ありがとうございます。

では、まず1つ目の語句の修正につきましては、前回竹内委員から御指摘いただいた内容ですが、今回のこういう修正でよろしいでしょうか。

○竹内委員 はい。

○加藤専門委員長 この部分は、事務局の修正のとおりとしたいと思います。

それから、一番最後のパブリックコメントにつきましては、対応方針の県の考え方が示されていますけれども、これについては後で御意見いただければと思います。

それで、今日大きく変更になっている部分は費用便益分析のところですが、各委員から何か御意見ございませんでしょうか。

○島田委員 細かいところですが、パワーポイントの最後から2番目の表ですが、整備前の値が前回掲載した値となるということですが、その数字がどこにも見当たらないので、どことどれが合っているのかももう少し詳しく説明していただきたいと思います。

○阿部スポーツ振興課主任 前回の調書との関係性で説明をさせていただきます。

まず、前回の調書と数字が合致しないというのはおっしゃるとおりです。その点に関して、まずは説明させていただきます。

スライドの表の中の事業費でBとして入っている部分、これが前回の調書に載っていた数字と関係する部分になっています。その上で、先ほど説明の中で申し上げたのですが、前回の表との違いで、前回までは各項目それぞれの単年度の数値を50年間足したものを、最後に現在価値化しているというような形になっています。今回の調書は、各項目の単年度それぞれで最初に現在価値化して50年間の和を求めているものですので、それで微妙に数字が変わっています。では、現在価値化は何かということをお簡単に申し上げますと、基準年で現在価値化する場合、年間4%ずつ価値が目減りしていくというような考え方になっています。具体的には今年1万円をもらった場合に1万円の価値があるのですが、それを来年、2年目に1万円もらうとすると現在価値化するために4%値引いて9,600円の現在価値しかありませんということになります。そのような現在価値化の考え方によって、前回はまとめた金額を最後に現在価値化しています。今回のものは、最初に単年度で

現在価値化したものを50年間足し合わせていることや表の表記の違いもあり、数字としては違いがあります。ただ、このスライドの中であらわすためには同じ数字の考え方で比較しなければいけなかったために、野球場の間接利用価値が前回と合致しないというような状況が起きてしまっております。

○島田委員 ありがとうございます。それで、これがB引くAなので、ここに153という数字が入っていますが、元々出ている数字が単年度の数字なのでしょうか。

○阿部スポーツ振興課主任 調書に載っている実際の数字でいきますと、例えば環境価値として載っている数字が「10,901」と書いてあって、修正されていると思うのですけれども、それを現在価値化した数字が「4,871」というこのスライド中の数字になります。調書に載って修正されている「10,901」というのはまだ現在価値化されていない数字でございます。それを現在価値化した数字が「4,871」になっています。

○島田委員 計算の方法を変えたということではないのですか。

○阿部スポーツ振興課主任 計算につきましては、国土交通省のマニュアルに従っており、計算方法は変わっておりませんが、考え方が少し変わっています。前回は何もない土地に建った場合の価値を計算したものです。今回は、7月に御覧いただいた現地の様子として池があって、木があってと、この状態で同じように環境の価値を求めてみましたという数字がスライドの表の中のこの数字です。今回の調書に載せるべきというのは、このAとBの差、整備したことによって高まった部分だけが効用であるとの御意見を前回委員会でいただきましたことから、今回はその差の「153」という数字を調書に載せております。

○加藤専門委員長 よろしいですか。

○島田委員 はい。

○加藤専門委員長 他に御意見ございませんでしょうか。

○竹内委員 教えていただければと思うのですけれども、コストの④というのがあるのですが、32億が15億に減っているのですけれども、先ほどの説明の中で括りを変えたといえますか、項目の表記を変えたということで随分下がっているのかなと思ったのですけれども、どういうことなのかなという確認です。

○阿部スポーツ振興課主任 こくも先ほどの説明と同じくになってしまうのですが、今「3,213」という数字が書いてあって修正されているかと思うのですけれども、前回の表の中ではこの「3,213」という数字も含んで総費用として「20,606」という数字を総和として出して、それを下のほうの行で現在価値化するというような手続を行っているものなので、なので、この「3,213」という数字は単年度コストを50年間足し合わせただけの数字

で現在価値化されていないというものになっています。

一方で、「1,532」というのがそれぞれの年で現在価値にして50年間足し合わせたというものになっています。総費用に関しては、今回修正した総費用Cという数字が「13,899」となっているところと、あとは修正されている下のほうの行で、総費用Cのところに書いてある数字も「13,899」という数字が書いてあります。そういったことで考え方としてはコストの部分は全ての項目で前回の評価からは数字が動いておりません。コストは前回と考え方が一切変わっておりません。ただ、表記上の問題でどのタイミングで現在価値化するかということで表の体裁を直したということに引きずられて数字が修正されているように見かけ上見えると、そういったものでございます。

○竹内委員 修繕する内容そのものは変わっていないということですか。

○阿部スポーツ振興課主任 はい。

○竹内委員 わかりました。大規模な修繕費とありますけれども、大規模以外の修繕費はどこに入っているのですか。

○阿部スポーツ振興課主任 その部分に関しては、事業が50年間ですので、PFI事業の期間の間はPFIのサービス対価15年間に入っています。その後は、今の想定では指定管理を想定しておりますので、その後の35年間に関する小規模な修繕は指定管理料という金額の中に含まれています。

○加藤専門委員長 よろしいでしょうか。
他にございませんか。

○河野委員 先ほど島田委員から質問があった件をちょっとだけお答えさせていただきたいと思います。

整備前のところで樹木とか池とかがあって、これが環境の価値を生んでいるのです。具体的には何かというと、例えば大気の温度を上昇させるのを防いでいる。それから生態系の価値がある。そういったものが既にマニュアルの中に価値としてカウントされているので、今現在ある整備前のものはこれから50年間もし野球場を作らなければ続いていきますので、価値を発生させるのです。その価値を発生させるものかわりに野球場を作るわけですから、整備後の価値になります。ですので、整備前のAの価値と整備後のBを引き算して価値を求めるのが今回は正解であるということです。

○加藤専門委員長 ありがとうございます。
他に御意見ございませんでしょうか。

○越谷副専門委員長 大分説明をいただいたので、わかるようになってきたのですが、防災の方で見たときに、そちらの表で整備前は広々とした緑地帯を有する防災的価値ですが、

整備後はそれに比べてかなり大きくなっていると。緑地の部分は少し減ったりするかもしれないですが、建物もいろいろ建設したり、具体的にどういう感じが、つまり一番最初にスライドで示した差の部分として生じたものはどういったものが貢献されているのか、概要を教えてくださいませんか。

○阿部スポーツ振興課主任 今回の数字は、国土交通省のマニュアルに従っているものになっています。このときに防災の効用値というのはどのように求められているかというのがこの式で示されています。a 3とかa 4とかa 5というのは定められた数字、いわゆる係数だと思っていただければと思います。そのときにa 3掛ける広場面積の平方根ということで、広場面積がまず出てきます。

次がa 4掛けるゾーンから公園までの距離の2乗、最後にa 5掛ける防災拠点の有無、ありだったら1が入って、ないと0が入るという形になります。

以上を踏まえて、先ほどの整備前と整備後の違いを申し上げます。ここで言う広場面積は何かというと、防災価値としては人がそこに来て逃げてこれるような面積を計上しています。今の整備前の状態ですと本当にでこぼこで草地在り広がっているような感じなので、防災価値を求める広場面積というものは0としております。

図を見ながら説明をしますと、要は池があって、確かに樹木もあるのでありますが、ここは平らではなく草地なので、防災の価値としての広場面積は0です。一方で、野球場を整備するとこのあたりに広場やグラウンドがあったりするなど、人が避難してこれる広場があるので、まず整備された広場があるということで効用の差が生まれています。

さらに、防災機能のありなしという部分で、最後の部分で1か0が入るので、防災機能がないとこの計算の部分が0になってしまうのです。それが整備前の場合は、今は草地しか広がっていませんので、防災拠点としての機能がないということで、ここは0、整備後が屋内練習場が一時避難などの場所になったりすることもあるので、防災機能としてはありという形になります。結果として、この部分は整備前はゼロです。整備すると1が入るので、プラスの値がここで返されます。

大きな部分は、やはりこの広場の面積、整備された広場が今ない状態のところを整備することによって避難できる広場が生まれる。そういったところで防災価値の差が大きく出てきているということです。

○越谷副専門委員長 表の中では現在生んでいる価値はどの部分ですか。

○阿部スポーツ振興課主任 現在の価値の部分の計算を少し具体的に申し上げますと、今申し上げたとおり避難する広場の面積としては0ですので、a 3掛けるで始まるこの一番上の部分はゼロになります。そして、防災機能がないので、この下の部分も0になります。

ですので、マニュアルに従った計算をすると定められた係数a 4というものに、37のゾーンで分けましたが、そこからの距離の2乗を掛けて価値を計算しているという形で数値は計算されています。

○加藤専門委員長 よろしいでしょうか。

他にございませんでしょうか。

「なし」の声

○加藤専門委員長 なければ、この費用便益分析の部分についても皆さんに御理解いただいたということでよろしいですね。

「はい」の声

○加藤専門委員長 それではパブリックコメント、最後のところ、先ほど御説明いただきましたけれども、こういう対応でよろしいか、もっとこうすべきという御意見ありましたらお願いしたいと思います。

○島田委員 回答は特に問題ないと思うのですが、例えばここに御意見とかであるような食料や水や毛布等の備蓄をどこかにされるような御予定は実際にはこれからなのだと思うのですが、その辺はどのように考えておられるか教えていただければと思います。

○星野スポーツ振興課主幹兼生涯スポーツ担当課長 ここにつきましては、この野球場を整備することによって盛岡市の防災計画の見直しも絡んできますので、食料とか水を備えるというところについては今後盛岡市と、そして私ども県と事業者とで協議していくということになります。

○島田委員 できるだけそういうものがあつたほうが良いと思うので、いろいろ相談しながら配慮していただければなと思いました。

○星野スポーツ振興課主幹兼生涯スポーツ担当課長 ありがとうございます。

○加藤専門委員長 一般的にはこういう備蓄については、県よりは市の方が中心になるケースが多いと思うのですが、今回一緒に整備をやるということですので、上手く連携を図って準備いただければと思います。

他に御意見ございませんか。

○河野委員 受け取り方の話なのですが、要望としては整備してくださいとありますので、もう少し断言口調で整備しますという形にしていいのではないかなと思います。「施設となるよう整備を進めていきます。」というといつできるのだろうか、どれぐらいの規模なのだろうかということになるので、もし規模を書けるのだったらこういう形で整備しますとした方が安心感が全然違いますよね。安心させるように書いた方がいいのかなと思いました。

○加藤専門委員長 そのように検討してください。

○星野スポーツ振興課主幹兼生涯スポーツ担当課長 はい、盛岡市とも協議をしなければなりませんので、もう一度その点は検討します。

○加藤専門委員長 よろしくお願ひします。

それでは、今回の議案につきまして一通り皆さんから御意見いただいて、この後さらに継続審議すべきというような御意見はございませんでしたので、この案件については審議終了ということにさせていただいてよろしいでしょうか。

○秋山委員 事業費全体を縮減したのだけれども、年間のランニングコストについては増えたという説明がありました。内容を見ていますと受益者負担とすべきものが含まれているような感じがいたしますので、そこについてはもう一度検討の上、適正なランニングコストになるように検討していただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○星野スポーツ振興課主幹兼生涯スポーツ担当課長 ありがとうございます。そのように盛岡市、事業者とも検討を進めていきたいと思ひます。

また、繰り返しになりますが、盛岡南公園野球場（仮称）については、現在の県営野球場の利用料金をベースに利用料金を設定しましたが、前回委員会での河野委員からの御助言を受けまして、今後スポーツ施設を新たに整備するに当たっては、社会厚生を最大化する利用料金の設定手法についても十分に考慮して検討を進めていくことにしたいと思ひております。

○加藤専門委員長 では、そのように進めていただければと思ひます。

では、この部分については審議終了という形でよろしいでしょうか。

「はい」の声

○加藤専門委員長 それでは、次に事務局の方からお願ひします。

○北島政策推進室評価課長 今までの議論の中で、評価調書、資料にありますとおり朱書きで事業費の縮減、文言の修正ですとか、B/C、これは1を相当上回っている状況で数値を修正することなのですからけれども、この文言や数字の修正について、この委員会の場でそういう修正をするということを決めていただひいて、改めて諮問し直すとか、パブリックコメントし直すということをしなひでいきたいと思ひておりますけれども、そちらでよろしいでしょうかという確認をお願ひしたいと思ひます。

○加藤専門委員長 それでは、事務局から御提案ありましたように、改めてさらにパブリックコメントを求めるとか、諮問し直すことをしなひることについて、この委員会で決定ということではよろしいでしょうか。

「はい」の声

○加藤専門委員長 そういうことでお願いしたいと思います。

○北島政策推進室評価課長 ありがとうございます。

○加藤専門委員長 続いて、答申案の検討ですが、まず事務局から御説明をお願いします。

〔参考資料説明〕

○加藤専門委員長 ありがとうございました。

それでは、具体的にはこの 25 ページの様式に沿って答申案の検討ですが、25 ページの黒丸になっているところは今日の日付が入ります。「1月17日開催の令和元年度第5回大規模事業評価専門委員会において、すべての調査審議を終了し、次のとおり決定しましたので報告します。」ということで、審議結果につきましては「事業実施」とした県の評価は妥当と認められると、そういうことでよろしいでしょうか。

それで、先ほど秋山委員から意見もありましたけれども、それはあえて附帯意見として載せるまでもないということで解釈してよろしいですか。

○秋山委員 はい。

○加藤専門委員長 もし附帯意見あった方がいいという場合。

御意見、はい、どうぞお願いします。

○河野委員 先ほどの秋山委員の利用料金というのは非常に大事で、大きな影響も持ちますので、私は何らかの形で入れていくべきではないかなと思ったのですけれども、いかがでしょうか。

○秋山委員 お任せしていいと思います。

○加藤専門委員長 では、議事録とかには残していただいて、それをやはりずっと引き継いでもらうようなことにして、あえて文言的には附帯意見つけないという形でほかの委員の皆様、それでよろしいでしょうか。

「はい」の声

○加藤専門委員長 では、そのようにさせていただきたいと思います。

それでは、1番目の議題はこれで終わります。

(2) その他

○加藤専門委員長 2番目、その他の議題ですが、これは事務局の方で何か用意ございますでしょうか。

○佐々木政策推進室主任主査 特にありません。

○加藤専門委員長 特にありませんと、そうですか。

それでは、本日用意された議題はここで終了させていただきたいと思います。御協力ありがとうございました。

それでは、マイクは事務局の方にお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

○北島政策推進室評価課長 長時間の御審議ありがとうございました。

次回の委員会、2月13日を予定しております。今年度は政策評価委員会の委員の改選期となっておりますので、次の委員会は改選後の委員の皆様にご出席いただき開催することになります。

したがって、本日このメンバーで行う最後の専門委員会となります。8年の長きにわたって委員の職をお務めいただきました越谷副専門委員長、秋山委員、それから河野委員にこの場をおかりして厚く御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。よろしければ一言ずつ御挨拶をいただきたいと思います。

○秋山委員 今回任期満了ということで、非常に何もわからない中で委員を引き受けて、最初はB/Cが何かということもわからなかったのですけれども、河野先生の解説もありまして、だんだんわかってきました。まだわからないこともたくさんありますけれども、こういう形で政策が検討されて実施されているのだということがよくわかりまして、勉強になりました。委員会の中では、なかなか適切な意見を言えなかったと思いますけれども、素人目で見たところでいろいろな御意見はさせていただいたところですので、今後とも県のためにこの委員会がいい働きをすることを願っております。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○河野委員 8年間どうもありがとうございました。私の先生でもある森杉先生からこの職を引き継いで、仙台から来ているもので交通費もいただいているので、何か役に立てないかとやってみましたが、能力の限界で大したことはできませんでしたが、この8年間で感じたこととしましては、いろんな課の方とお話しさせていただいたのですけれども、いろいろ専門性が高まる場面で、残念なことに人が異動してしまうのです。その課に専門性がなかなか根づかないようなところを少し感じました。こういうところのもちろん利点、欠点があるのでしょうけれども、ぜひともこれから専門性が高くなっていますので、そういうことも必要ではないかなと思いました。一言余計なことを言いましたが、これからは仙台の方から岩手県さんを応援してまいります。ありがとうございました。

○越谷副専門委員長 8年間どうもありがとうございました。本当に余り役に立たなかつ

たかなというような反省ばかりでございますが、この会に出させていただきますと、県の
いろんな担当部署の方々がさまざまな工夫されている姿を見て、まともに震災の後という
こともございましたし、その後もまだまだ自然の猛威というのが続いているというよう
なところを見ていきますと、どこかのゼネコンのキャッチフレーズみたいな感じですが、
安心、安全で豊かな暮らしを目指してというのが根幹にあらうかなと思います。河野先生
に勉強させていただきながらというところは大きいですが、無駄もなく、効率もよくて、
かつ、まさに豊かで、多分安全、安心が来るのだらうなと考えますので、その辺の努力を
これまで以上にさせていただければと思っております。もちろん私も岩手県におりますので、
少しでも力になればとは思いますが、ぜひ皆さんのこれからの御活躍を祈念したいと思います。
どうもありがとうございました。

○北島政策推進室評価課長 ありがとうございます。これからも引き続き県政の推進の
ために御指導、御鞭撻のほどよろしくお願ひしたいと思います。

4 閉 会

○北島政策推進室評価課長 以上をもちまして、本日の専門委員会を終了いたします。お
疲れさまでした。ありがとうございました。